



ベニバナイチヤクソウ

(2006年6月2日 撮影)

木々の葉に覆われ、昼でも薄暗い森の中で、ひっそりと咲いています。1か所には群生していることが多いですが、泉ヶ岳ではあまり見かけることはない花の1つです。

名前の由来は、止血や消炎の効能がある薬草「イチヤクソウ」の赤い種類であるところから。このベニバナイチヤクソウもその効能があるようですが、もし見つけても採らないで見守ってくださいね。



花の部分のアップ。



開花直前（5月24日）